

表 8 リスクアセスメントに関する質問への回答結果 2-3（割合）

RA後の労災減少	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
かなり減った			7.9%	32.4%	19.4%
まあまあ減った			42.1%	29.4%	36.1%
あまり減らなかった			7.9%	17.6%	12.5%
全く減らなかった			5.3%	0.0%	2.8%
分からない			31.6%	20.6%	26.4%
N/A			5.3%	0.0%	2.8%

RA指針	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
指針通りに実施していない			21.1%	14.7%	18.1%
指針通りに実施した			71.1%	85.3%	77.8%
N/A			7.9%	0.0%	4.2%

RA実施理由	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
行政からの要請・指示があった			42.1%	32.4%	37.5%
所属団体からの要請・指示があった			18.4%	2.9%	11.1%
親会社・本社からの要請・指示があった			21.1%	35.3%	27.8%
上長(経営者)からの要請・指示があった			23.7%	8.8%	16.7%
リスクアセスメントが努力義務事項だから			28.9%	26.5%	27.8%
導入により労働災害が減ると思ったから			39.5%	41.2%	40.3%
既存の安全衛生対策だけでは不十分だと思ったから			18.4%	29.4%	23.6%
労働災害が発生していたから			10.5%	8.8%	9.7%
同業他社による好事例があったから			0.0%	5.9%	2.8%
その他			13.2%	0.0%	6.9%

RA実施理由(最大)	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
行政からの要請・指示があった			10.5%	14.7%	12.5%
所属団体からの要請・指示があった			2.6%	0.0%	1.4%
親会社・本社からの要請・指示があった			10.5%	20.6%	15.3%
上長(経営者)からの要請・指示があった			5.3%	0.0%	2.8%
リスクアセスメントが努力義務事項だから			2.6%	11.8%	6.9%
導入により労働災害が減ると思ったから			13.2%	11.8%	12.5%
既存の安全衛生対策だけでは不十分だと思ったから			0.0%	2.9%	1.4%
労働災害が発生していたから			2.6%	0.0%	1.4%
同業他社による好事例があったから			0.0%	0.0%	0.0%
その他			2.6%	0.0%	1.4%
N/A			50.0%	38.2%	44.4%

表 9 リスクアセスメントに関する質問への回答結果 2-4（割合）

RA大変だったこと	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
必要な実施体制の整備・維持			50.0%	50.0%	50.0%
教育研修の実施			39.5%	50.0%	44.4%
リスクアセスメント実施要領の作成			26.3%	35.3%	30.6%
リスクアセスメント対象の選定			13.2%	11.8%	12.5%
リスクアセスメント対象の情報の入手			15.8%	8.8%	12.5%
危険性又は有害性の特定			23.7%	26.5%	25.0%
リスクの見積もり			34.2%	32.4%	33.3%
リスクの優先度の設定(評価)			23.7%	14.7%	19.4%
リスク低減措置の検討			23.7%	35.3%	29.2%
リスク低減措置の実施			23.7%	52.9%	37.5%
記録の作成・保存			10.5%	14.7%	12.5%
予算の獲得・維持			15.8%	20.6%	18.1%
リスクアセスメントの実施にかかる時間の確保			36.8%	29.4%	33.3%
会社組織内での合意			5.3%	11.8%	8.3%
経営トップの理解を得ること			5.3%	5.9%	5.6%
安全衛生スタッフの能力向上			18.4%	20.6%	19.4%
ライン管理監督者の協力を得ること			10.5%	17.6%	13.9%
その他			7.9%	0.0%	4.2%

RA大変だったこと(最大)	RA非実施	RA中止	RA実施	RA実施中	全体
必要な実施体制の整備・維持			13.2%	17.6%	15.3%
教育研修の実施			7.9%	5.9%	6.9%
リスクアセスメント実施要領の作成			5.3%	5.9%	5.6%
リスクアセスメント対象の選定			0.0%	0.0%	0.0%
リスクアセスメント対象の情報の入手			0.0%	0.0%	0.0%
危険性又は有害性の特定			0.0%	2.9%	1.4%
リスクの見積もり			5.3%	2.9%	4.2%
リスクの優先度の設定(評価)			2.6%	0.0%	1.4%
リスク低減措置の検討			5.3%	8.8%	6.9%
リスク低減措置の実施			2.6%	17.6%	9.7%
記録の作成・保存			2.6%	0.0%	1.4%
予算の獲得・維持			0.0%	2.9%	1.4%
リスクアセスメントの実施にかかる時間の確保			13.2%	5.9%	9.7%
会社組織内での合意			0.0%	0.0%	0.0%
経営トップの理解を得ること			0.0%	0.0%	0.0%
安全衛生スタッフの能力向上			7.9%	0.0%	4.2%
ライン管理監督者の協力を得ること			0.0%	5.9%	2.8%
その他			0.0%	0.0%	0.0%
N/A			34.2%	23.5%	29.2%

RA実施企業 72社	回答企業数(社)	労災件数(件)	1社あたり労災件数
5年前	69	44	0.638
4年前	71	38	0.535
3年前	72	29	0.403
2年前	72	25	0.347
1年前	72	39	0.542
導入年	72	32	0.444
1年後	70	27	0.386
2年後	60	31	0.517
3年後	45	10	0.222
4年後	37	13	0.351
5年後	32	2	0.063
前5年(1年間)	356	175	0.492
後5年(1年間)	244	83	0.340
前3年(1年間)	216	93	0.431
後3年(1年間)	175	68	0.389

RA非実施企業 368社	回答企業数(社)	労災件数(件)	1時間あたり労災件数※
2006年	342	29	0.085
2007年	345	43	0.125
2008年	345	25	0.072
2009年	350	31	0.089
2010年	356	38	0.107
2011年	356	36	0.101
2012年	360	35	0.097
2013年	358	34	0.095
直近8年(1年間)	2,812	271	0.096
直近5年(1年間)	1,780	174	0.098
直近3年(1年間)	1,074	105	0.098

※1時間あたり労災件数の単位は 10^{-5} 件/時間

表 10 リスクアセスメント実施前後およびリスクアセスメント非実施企業の
 1社あたり労働災害発生件数

RA実施企業 72社	総労働時間数(時間)	労災件数(件)	1時間あたり労災件数※
5年前	12,022,943	44	0.366
4年前	12,004,778	38	0.317
3年前	11,941,047	29	0.243
2年前	11,939,305	25	0.209
1年前	11,951,479	39	0.326
導入年	11,922,013	32	0.268
1年後	11,904,056	27	0.227
2年後	10,911,281	31	0.284
3年後	10,253,667	10	0.098
4年後	10,103,123	13	0.129
5年後	9,564,690	2	0.021
前5年(1年間)	59,859,551	175	0.292
後5年(1年間)	52,736,817	83	0.157
前3年(1年間)	35,831,831	93	0.260
後3年(1年間)	33,069,004	68	0.206

RA非実施企業 368社	総労働時間数(時間)	労災件数(件)	1時間あたり労災件数※
2006年	13,643,250	29	0.213
2007年	13,742,422	43	0.313
2008年	13,510,736	25	0.185
2009年	12,871,592	31	0.241
2010年	14,036,316	38	0.271
2011年	13,912,836	36	0.259
2012年	14,034,670	35	0.249
2013年	13,829,146	34	0.246
直近8年(1年間)	109,580,968	271	0.247
直近5年(1年間)	68,684,560	174	0.253
直近3年(1年間)	41,776,652	105	0.251

※1時間あたり労災件数の単位は 10^{-5} 件/時間

表 11 リスクアセスメント実施前後およびリスクアセスメント非実施企業の
 1時間あたり労働災害発生件数

表 12 リスクアセスメント実施前後およびリスクアセスメント非実施企業の労働災害発生件数

1社あたり労災件数				1時間あたり労災件数※			
RA実施企業 72社		RA非実施企業 368社		RA実施企業 72社		RA非実施企業 368社	
5年前	0.638	0.085	2006年	5年前	0.366	0.213	2006年
4年前	0.535	0.125	2007年	4年前	0.317	0.313	2007年
3年前	0.403	0.072	2008年	3年前	0.243	0.185	2008年
2年前	0.347	0.089	2009年	2年前	0.209	0.241	2009年
1年前	0.542	0.107	2010年	1年前	0.326	0.271	2010年
導入年	0.444	0.101	2011年	導入年	0.268	0.259	2011年
1年後	0.386	0.097	2012年	1年後	0.227	0.249	2012年
2年後	0.517	0.095	2013年	2年後	0.284	0.246	2013年
3年後	0.222	-	-	3年後	0.098	-	-
4年後	0.351	-	-	4年後	0.129	-	-
5年後	0.063	-	-	5年後	0.021	-	-
前5年間	2.458	0.771	直近8年間	前5年(1年間)	0.292	0.247	直近8年(1年間)
後5年間	1.701	0.402	直近5年間	後5年(1年間)	0.157	0.253	直近5年(1年間)
前3年間	1.292	0.293	直近3年間	前3年(1年間)	0.260	0.251	直近3年(1年間)
後3年間	1.166	-	-	後3年(1年間)	0.206	-	-

※1時間あたり労災件数の単位は 10⁻⁵件/時間

付：調査票

調査票Aの1

1. 貴事業場の設立年をご記入下さい。

年 明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和 ・ 平 成 ・ 西 暦	年
----------------------------------	---

2. 貴事業場の業種を下記の中から選択しその番号を右にご記入下さい。「24その他」である場合は「24」と記入した上で具体的な業種を番号の右にご記入ください。

その他の場合、具体的な業種を記入

01 食料品製造業	09 石油製品・石炭製品製造業	17 はん用機械器具製造業
02 飲料・たばこ・飼料製造業	10 プラスチック製品製造業	18 生産用機械器具製造業
03 繊維工業	11 ゴム製品製造業	19 業務用機械器具製造業
04 木材・木製品製造業(家具を除く)	12 なめし革・同製品・毛皮製造業	20 電子部品・デバイス・電子回路製造業
05 家具・装飾品製造業	13 窯業・土石製品製造業	21 電気機械器具製造業
06 パルプ・紙・紙加工品製造業	14 鉄鋼業	22 情報通信機械器具製造業
07 印刷・同関連業	15 非鉄金属製造業	23 輸送用機械器具製造業
08 化学工業	16 金属製品製造業	24 その他 ※具体的な業種を記入

3. 下記のリスクアセスメントについての解説を読み、以下の質問に当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。

[解説] リスクアセスメントとは、労働災害や事故が起こる可能性と、災害や事故が発生した場合のケガの大きさとが、どの作業に潜んでいるかを調査(洗い出し・見積り・評価)し、適切なリスク低減対策を実施することです。平成18年4月の労働安全衛生法の改正により、事業者はリスクアセスメントを導入し、労働災害を未然に防止することが努力義務事項となりました。

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
(1) あなたは上記のことをこの解説を読む前に知っていましたか。	1 知らなかった 2 知っていた
(2) リスクアセスメント実施にはいくつかのプロセスがあります。そのひとつである「リスク評価」を知っていますか。	1 聞いた事がない 2 聞いた事があるが中身はよく知らない 3 中身をおおよそ知っている 4 よく知っている
(3) リスクアセスメントの研修会やセミナーなどに参加したことはありますか。	1 参加したことがある ⇒ 質問(4)及び(5)回答後、調査票Aの2へ 2 参加したことがない ⇒ 質問(6)回答後、調査票Aの2へ
(4) 上記(3)で研修会やセミナーに「1 参加したことがある」とご回答の方にご質問します。セミナーに参加したのはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 リスクアセスメントを実施したかったから 2 リスクアセスメントの効果が期待できたから 3 リスクアセスメントをもっと知りたかったから 4 事故を減らしたかったから 5 安全衛生対策に不安があったから 6 必要を感じたから 7 親会社・本社・上長(経営者)からの指示 8 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)
(5) 上記(3)で研修会やセミナーに「1 参加したことがある」とご回答の方にご質問します。セミナーに参加してどう思いましたか。1から5まですべてについて「はい」または「いいえ」のどちらかに○(マル)をつけて下さい。その他思ったことがあれば6にご記入ください。 →次に調査票Aの2へ	1 リスクアセスメントについてよく理解できた はい・いいえ 2 知りたかったことを知ることができた はい・いいえ 3 すぐにリスクアセスメントを導入できと思った はい・いいえ 4 自事業場でもリスクアセスメントを導入しようと思った はい・いいえ 5 リスクアセスメントの導入は無理だと思った はい・いいえ 6 その他思ったことをご自由にご記入下さい
(6) 上記(3)で研修会やセミナーに「2 参加したことがない」とご回答の方にご質問します。これまで研修会やセミナーに参加しなかったのはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも) →次に調査票Aの2へ	1 セミナーがあると知らない・聞いた事がない 2 開催地が遠方だった 3 日程が合わなかった 4 内容に対し参加費用が高額だった 5 上長(経営者)の理解が得られなかった 6 特に必要を感じなかった 7 参加する意義が全く感じられなかった 8 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

※「調査票Aの2」へお進みください

調査票Aの2

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
(7)貴事業場において、労働災害を防止又は減らすために、安全衛生対策を実施することは必要だと思いますか。	1 必要だと思わない 質問(8)回答後、質問(9)へ(以降順次回答)
	2 必要だと思う ⇒ 質問(9)へ(以降順次回答)
	3 分からない ⇒ 質問(9)へ(以降順次回答)
(8)上記(7)で安全衛生対策の実施は「1 必要だと思わない」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 労働災害があまり起きていないから
	2 安全衛生対策を行っても効果があると思わないから
	3 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)
(9)貴事業場において、労働災害を防止又は減らすために、リスクアセスメントは効果があると思いますか。	1 とても効果があると思う(導入すると事故がかなり減る)
	2 まあまあ効果があると思う(導入すると事故が多少減る)
	3 あまり効果がないと思う(導入してもあまり事故が減らない)
	4 全く効果がないと思う(導入しても全く事故が減らない/事故の増減には影響がない)
(10)リスクアセスメントを実施したことはありますか。当てはまる回答の数字に○をつけて下さい。	1 今まで一度も実施したことがない ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票B(水色の用紙)】へ
	2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった) ⇒質問(11)から順次回答後、【調査票B(水色の用紙)】へ
	3 実施したことがある ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票C(ピンクの用紙)】へ
	4 現在実施中である ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票C(ピンクの用紙)】へ
(11)上記(10)でリスクアセスメントを「2 実施したことがあるが中断した(完了しなかった)」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 実施途中で人員が割り当てられなくなった出来事が起きたから
	2 実施途中で時間が割り当てられなくなった出来事が起きたから
	3 実施途中で予算が割り当てられなくなった出来事が起きたから
	4 実施途中であまり効果がないと思ったから中止した
	5 当初の予想より時間がかかることがわかったから中止した
	6 当初の予想より費用がかかることがわかったから中止した
	7 当初の予想より実施方法や手順が難しいと思ったので中止した
	8 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)
(12)リスクアセスメント以外の労働安全衛生対策を行っていますか。当てはまる回答の数字に○をつけて下さい。行っている場合は、内容も具体的にご記入ください。	1 行っていないし実施の具体的な予定もない ⇒質問(13)を回答後、次の調査票へ
	2 行っていないが実施の具体的な予定がある ⇒次の調査票へ 具体的な内容をご記入ください
	3 行っている ⇒次の調査票へ 具体的な内容をご記入ください
(13)上記(12)でリスクアセスメント以外の労働安全衛生対策を「1 行っていないし具体的な予定もない」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 リスクアセスメントを実施しているから
	2 行政からの要請・指示がないから
	3 親会社・本社・上長(経営者)からの要請・指示がないから
	4 労働災害があまり起きていないから
	5 具体的に何を実施すればよいかわからないから
	6 実施したいことがあるが人員・時間を割けないから
	7 実施したいことがあるが費用が捻出できないから
	8 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)

リスクアセスメントを実施したことがない・中断した→調査票Aの3を記入後、調査票B(水色の紙)へ
 リスクアセスメントを実施したことがある・実施中→調査票Aの3を記入後、調査票C(ピンクの紙)へ

調査票Aの3

12月の売上高(年間)をお答えください。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(2,856万7,250円の場合→28,560,000)※右詰め

0	0	0	0
---	---	---	---

12月の営業利益(粗利)をお答えください。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(552万2,788円の場合→5,520,000)※右詰め

0	0	0	0
---	---	---	---

労働者についてお答えください。

常用労働者数			実労働時間数(※休憩時間は除く)					
(1)12月末日時点では何人でしたか。	(2)うち、パートタイム労働者は何人でしたか。	(3)うち、派遣労働者は何人でしたか。	(4)1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(5)うち、パートタイム労働者の1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(6)うち、派遣労働者の1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(7)1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(8)うち、パートタイム労働者の1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(9)うち、派遣労働者の1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。

式に、上記の(1)、(4)及び(7)を当てはめて、合計数に誤りがないかご確認ください。

年間の所定内労働時間の合計 (1)12月末日時点での常用労働者数

$$\frac{\text{時間}}{\text{人}} \div 12 \div 20 = (\text{ア})$$

年間の所定外労働時間の合計 (1)12月末日時点での常用労働者数

$$\frac{\text{時間}}{\text{人}} \div 12 \div 20 = (\text{イ})$$

$$\text{時間} + (\text{イ}) \text{時間} = (\text{ウ}) \text{時間}$$

は、真実現場における、1人あたりの1日の所定内労働時間の平均を表しています(※1ヶ月の労働日数を20日として計算)。(ア)が8時間を超える場合は、り常用労働者数や(4)の所定内労働時間の合計に誤りがないが、再度ご確認ください。

ま、真実現場における、1人あたりの1日の所定外労働時間(残業時間)の平均を表しています(※1ヶ月の労働日数を20日として計算)。(ア)と(イ)の合計(ウ)1人あたりの1日の実労働時間の平均を表しています。(ウ)が24時間を超えることは理論上ありえません。

が11月までに比較して12月に大幅に減少した場合は、上記計算式に当てはめても正常な値にならないことがあります。その場合は、1月から12月までの合計を平均してご記入ください。(詳しい内容はホームページをご参照ください)

ご記入後は
 リスクアセスメントを実施したことがない・中断した→調査票B(水色の紙)へ
 リスクアセスメントを実施したことがある・実施中→調査票C(ピンクの紙)へ

調査票Bの1

※調査票Aの2質問(10)において「1 今まで一度も実施したことがない」もしくは「2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった)」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも) ↓	最も大きな理由に○をつけて下さい(一つだけ) ↓
1. リスクアセスメントを実施していない理由はなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも) また、○(マル)をつけた中で最も大きな理由となっているものについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)	1 リスクアセスメントがどんなものなのかよくわからない
	2 難しそうな気がする
	3 具体的な実施方法が分からない
	4 上長(経営者)の理解が得られない
	5 組織内での合意・協力が得られない
	6 導入に必要な資料が入手できない
	7 同業他社の好事例等の情報が入手できない
	8 体制が整備できない
	9 知識のある人材が用意できない
	10 導入に必要な時間が確保できない
	11 導入に必要な予算が確保できない
	12 導入しても効果があまりないと思う
	13 労働災害があまり発生していないので必要ない
	14 法令義務の範囲内で対策は十分なので必要ない
	15 既存対策で十分なので必要ない
	16 親会社・本社からの要請・指示がない
	17 上長(経営者)からの要請・指示がない
	18 行政からの要請・指示がない
	19 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

2. 差支えなければ、現在の預貯金額(または直近の決算時の流動資産額)をご記入下さい。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(2,856万7,250円の場合⇒28 560 000)

2	8	5	6	7	2	5	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3. 事業所の2006年(平成18年)から2013年(平成25年)までの労働災害状況等をご回答ください。

労働災害件数	財政状況(資金繰り等)				製造現場の忙しさ								
	1	2	3	4	1	2	3	4					
(1)1日以上の休業を伴う労働災害件数を記入 (2)上記(1)のうち、4日以上休業を伴う労働災害件数を記入 ※労働災害がなかった年は空欄にせず「0」記入 ※設立年より前の年については空欄のまま	かなり余裕があった	まあまあ余裕があった	あまり余裕がなかった	全く余裕がなかった	かなり忙しかった	まあまあ忙しかった	あまり忙しくなかった	全く忙しくなかった					
	当てはまる数字に○(マル)をつけて下さい												
	(1)1日以上休業の件数	(2)4日以上休業の件数											
2006年(平成18年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2006年(平成18年)
2007年(平成19年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2007年(平成19年)
2008年(平成20年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2008年(平成20年)
2009年(平成21年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2009年(平成21年)
2010年(平成22年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2010年(平成22年)
2011年(平成23年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2011年(平成23年)
2012年(平成24年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2012年(平成24年)
2013年(平成25年)					1	2	3	4	1	2	3	4	2013年(平成25年)

※「調査票Bの2」へお進みください

調査票Bの2

※調査票Aの2質問(10)において「1 今まで一度も実施したことがない」もしくは「2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった)」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

4. 貴事業場がこれまでに実施したことがある安全衛生対策についてご回答ください。

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
これまでに何らかの安全衛生対策を実施したことがありますか。	1 ない(→これにてアンケートは終了です)
	2 ある(→次の質問5に回答後、アンケート終了です)

5. 調査対象となる事業場について、過去実施した(または現在も実施中である)すべての安全衛生対策を最大10個まで記入し、それぞれ労働災害への効果について、当てはまる数字に○(マル)をつけてください。またそれぞれ導入した年には該当マスに○(マル)を、2013年末現在で実施していないものについては、やめた年の該当マスに×(バツ)をご記入ください。

それぞれの対策の効果について 当てはまる数字に○(マル)をつけてください。	導入した年に○(マル)をつけて下さい。 2013年末時点では実施していないものについてはやめた年に×(バツ)をつけて下さい。 ※導入とやめた年が同じ場合、ひとつの枠内に○と×をご記入下さい。 ※2013年末時点で実施継続中のものには、×を付ける必要はありません(○のみ)。												
	1	2	3	4	2005年以前	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
いままで行ったことのある安全衛生対策 (10個まで)	とても効果があつた	まあまあ効果があつた	あまり効果がなかつた	全く効果がなかつた									
1	1	2	3	4									
2	1	2	3	4									
3	1	2	3	4									
4	1	2	3	4									
5	1	2	3	4									
6	1	2	3	4									
7	1	2	3	4									
8	1	2	3	4									
9	1	2	3	4									
10	1	2	3	4									

※以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。

調査票Cの1

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

1. リスクアセスメントを導入(初めて実施)したのはいつですか。

年号に○をつけて下さい	平成	西暦	年	月	頃
-------------	----	----	---	---	---

2. 差支えなければ、導入時の預貯金額(または導入に最も近い決算時の流動資産額)をご記入下さい。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(856万7,250円の場合⇒8 560 000)

8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3. 以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。(ひとつだけ)

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)(ひとつだけ)
(1) リスクアセスメントを初めて知ったきっかけは何ですか。当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。	1 行政からの通知
	2 親会社・本社からの通知
	3 同業他社の通知
	4 業種協会・団体等からの通知
	5 上長(経営者)からの通知
	6 リスクアセスメント関連のセミナーへの参加
	7 業界紙・新聞・テレビ等を読んで
	8 インターネットで情報を見て
	9 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)
(2) リスクアセスメントを導入して、労働災害は減りましたか。	1 かなり減った
	2 まあまあ減った
	3 あまり減らなかった
	4 全く減らなかった
	5 分からない
(3) 導入にあたり厚生労働省の「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」(リスクアセスメント指針)に従って実施しましたか。	1 指針通りに実施していない
	2 指針通りに実施した

4. 以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけ、最も当てはまるものの右欄に○(マル)をつけて下さい。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも) ↓	最も大きな理由に○をつけて下さい(ひとつだけ) ↓
リスクアセスメントを実施した理由はなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも) また、○(マル)をつけた中で最も大きな理由となっているものについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)	1 行政からの要請・指示があった
	2 所属団体からの要請・指示があった
	3 親会社・本社からの要請・指示があった
	4 上長(経営者)からの要請・指示があった
	5 リスクアセスメントが努力義務事項だから
	6 導入により労働災害が減ったと思ったから
	7 既存の安全衛生対策だけでは不十分だと思ったから
	8 労働災害が発生していたから
	9 同業他社による好事例があったから
	10 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

※「調査票Cの2」へお進みください

調査票Cの2

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を回答した場合にご回答いただく調査票です。

5. 下記のリスクアセスメントについての解説を読み、以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけ、最も当てはまるものの右欄に○(マル)をつけて下さい。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも) ↓	最も大変だったことに○をつけて下さい(ひとつだけ) ↓
	1 必要な実施体制の整備・維持
	2 教育研修の実施
	3 リスクアセスメント実施要領の作成
	4 リスクアセスメント対象の選定
	5 リスクアセスメント対象の情報の入手
	6 危険性又は有害性の特定
	7 リスクの見積もり
	8 リスクの優先度の設定(評価)
	9 リスク低減措置の検討
	10 リスク低減措置の実施
	11 記録の作成・保存
	12 予算の獲得・維持
	13 リスクアセスメントの実施にかかる時間の確保
	14 会社組織内での合意
	15 経営トップの理解を得ること
	16 安全衛生スタッフの能力向上
	17 ライン管理監督者の協力を得ること
	18 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

(2)リスクアセスメントを実施する上でどのようなことが大変でしたか。当てはまる回答のすべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)

また、○(マル)をつけた中で最も大変だったことについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)

6. リスクアセスメント導入前5年間、導入年、導入後5年間、及び昨年2013年(平成25年)の労働災害状況等をご回答ください。

労働災害件数	財政状況(資金繰り等)				製造現場の忙しさ						
	1	2	3	4	1	2	3	4			
(1)1日以上の休業を伴う労働災害の件数を記入 (2)上記(1)のうち、4日以上の休業を伴う労働災害の件数を記入 ※労働災害がなかった年は空欄にせず「0」記入 ※設立年より前の年については空欄のまま	かなり余裕があった	まあまあ余裕があった	あまり余裕があった	全く余裕がなかった	かなり忙しかった	まあまあ忙しかった	あまり忙しかった	全く忙しかった			
	当てはまる数字に○(マル)をつけて下さい										
	(1)1日以上 休業の件数	(2)4日以上 休業の件数									
5年前			1	2	3	4	1	2	3	4	5年前
4年前			1	2	3	4	1	2	3	4	4年前
3年前			1	2	3	4	1	2	3	4	3年前
2年前			1	2	3	4	1	2	3	4	2年前
1年前			1	2	3	4	1	2	3	4	1年前
導入年			1	2	3	4	1	2	3	4	導入年
1年後			1	2	3	4	1	2	3	4	1年後
2年後			1	2	3	4	1	2	3	4	2年後
3年後			1	2	3	4	1	2	3	4	3年後
4年後			1	2	3	4	1	2	3	4	4年後
5年後			1	2	3	4	1	2	3	4	5年後
2013年 (平成25年)			1	2	3	4	1	2	3	4	2013年 (平成25年)

※「調査票Cの3」へお進みください

調査票Cの3

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を回答した場合にご回答いただく調査票です。

7.調査対象となる事業場について、過去実施した(または現在も実施中である)すべての安全衛生対策(リスクアセスメントを含む)を最大10個まで記入し、それぞれ労働災害への効果について、当てはまる数字に○(マル)をつけてください。またそれぞれ導入した年には該当マスに○(マル)を、2013年末現在で実施していないものについては、やめた年の該当マスに×(バツ)をご記入ください。

いままで行ったことのある安全衛生対策 (10個まで)	それぞれの対策の 効果について 当てはまる数字に ○(マル)を つけてください。				リスクアセスメントを導入した年を基準(導入年)として導入した年に○(マル)をつけて下さい。 2013年末時点では実施していないものについてはやめた年に×(バツ)をつけて下さい。 ※導入とやめた年が同じ場合、ひとつの枠内に○と×をご記入下さい。 ※2013年末時点で実施継続中のものには、×を付ける必要はありません(○のみ)。												
	1 とても効果があった	2 まあまあ効果があった	3 あまり効果がなかった	4 全く効果がなかった	6年前より以前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	リスクアセスメント導入年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後から以降
1	1	2	3	4													
2	1	2	3	4													
3	1	2	3	4													
4	1	2	3	4													
5	1	2	3	4													
6	1	2	3	4													
7	1	2	3	4													
8	1	2	3	4													
9	1	2	3	4													
10	1	2	3	4													

※以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。

研究成果の刊行に関する一覧表

学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	学会名	発表年月日
牧野良次, 松倉邦夫, 和田有司	茨城県の中小規模事業場を対象 としたリスクアセスメント普及 状況の調査	安全工学シンポジウム 2014	2014年7月11日
牧野良次, 松倉邦夫, 和田有司	中小規模事業場向けリスクアセ スメント手法の試行結果につい て	第47回安全工学研究発 表会	2014年12月4日

誌上発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
牧野良次	安全対策の費用便益分析に關す る最近の研究と課題	安全工学	53(3)	160-166	2014年
牧野良次, 松倉邦夫, 和田有司	茨城県中小企業におけるリスク アセスメントの普及状況	安全工学	53(5)	332-339	2014年

MEMO

茨城県の中規模事業場を対象としたリスクアセスメント普及状況の調査

牧野良次（産業技術総合研究所） 松倉邦夫（産業技術総合研究所）

和田有司（産業技術総合研究所）

1. はじめに

わが国における近年の労働災害による休業4日以上死傷者数は年間およそ11万人（死亡者はおよそ1000人）で推移している。平成22年では死傷者数の50%、死亡者の65%が従業員30人未満の事業場に所属していた。この事実は労働災害被災者数の削減を促進するためには中小事業場に着目する必要があることを示唆している。一方で、労働災害の削減においてはリスクアセスメントの実施が望まれるにも関わらず、リスクアセスメントが行われるべき中小事業場でむしろ普及が進んでいない現実がある。そこで、本研究では中小事業場におけるリスクアセスメントの普及状況を調査することを目的とする。

2. 調査方法

茨城県内の中小企業（製造業）1,418社を対象としてリスクアセスメントに関する質問票を郵送した。茨城県の平成18年事業所・企業統計調査結果（<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/rodo/jigyosyo18/#hyou>）によれば茨城県内の事業所数は126,506事業所であった。したがって1,418社はその1.4%にあたる。茨城県中小企業振興公社（<http://www.iis-net.or.jp/>）のデータベース（製造業）に登録されている企業を調査対象とした。2014年1月半ばに発送を開始し、回答期限を同年2月28日（当日消印有効）とした。回答者のうち希望があった企業には謝品としてQUOカード500円分を贈呈する旨を回答依頼書に記した。事業所を複数もつ企業については最も従業員数の多い事業所に関して回答を求めた。

3. 調査内容

今回のアンケートにおける主な調査内容を以下に示す。

企業の基本データ

従業員数（うち派遣労働者数）、年商、のべ総労働時間、平均残業時間、および業種。従業員数については平成26年1月1日現在のデータ、年商・のべ総労働時間・平均残業時間については平成25年（1月～12月）のデータである。

リスクアセスメントについて

リスクアセスメントに関する平成18年の労働安全衛生法改正（リスクアセスメントを導入し、労働災害を未然に防止することが努力義務事項となったこと）を知っていたか、リスク評価について知っているか、リスクアセスメントの研修会やセミナーに参加したことがあるか、およびリスクアセスメントを実施したことがあるか。

リスクアセスメントを実施したことがある企業に対する質問

リスクアセスメント実施時期、指針通りに実施したかどうか、他の安全衛生対策の実施状況、実施前後における1年あたりの労働災害発生数（今回の調査では「1日以上休業を伴う」ものとした）、実施時の預貯金額、および実施において困難だったポイント（選択式）。

リスクアセスメントを実施したことがない企業に対する質問

リスクアセスメント着手の有無、実施しない理由（選択式）、他の安全衛生対策の実施状況、最近3年間の労働災害発生数、現在の預貯金額、および実施後の事故増減に関する予想。

添付資料 1

表 1 リスクアセスメントに関する質問への回答

実施あり :32 実施なし :221 合計 :253件

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
リスクアセスメントについての知識							
N/A)	0	1	1	0.0%	0.5%	0.0%	0.4%
0知らない	0	112	112	0.0%	50.7%	0.0%	44.3%
1知っている	32	108	140	100.0%	48.9%	12.6%	42.7%
総計	32	221	253	100.0%	100.0%	12.6%	87.4%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
リスク評価についての知識							
1聞いた事がない	0	82	82	0.0%	37.1%	0.0%	32.4%
2中身は知らない	3	101	104	9.4%	45.7%	1.2%	39.9%
3おおよそ知っている	11	38	49	34.4%	17.2%	4.3%	15.0%
4よく知っている	18	0	18	56.3%	0.0%	7.1%	0.0%
総計	32	221	253	100.0%	100.0%	12.6%	87.4%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
研修会への参加							
N/A)	0	1	1	0.0%	0.5%	0.0%	0.4%
0なし	7	189	196	21.9%	85.5%	2.8%	74.7%
1あり	25	31	56	78.1%	14.0%	9.9%	12.3%
総計	32	221	253	100.0%	100.0%	12.6%	87.4%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
指針通りに実施							
N/A)	2		2	6.3%	0.0%	0.8%	0.0%
1した	25		25	78.1%	0.0%	9.9%	0.0%
2していない	5		5	15.6%	0.0%	2.0%	0.0%
総計	32	0	32	100.0%	0.0%	12.6%	0.0%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
実施したことはないが着手したことがある							
N/A)		3	3	-	1.4%	0.0%	1.4%
0ない		203	203	-	91.9%	0.0%	91.9%
1ある		15	15	-	6.8%	0.0%	6.8%
総計	0	221	221	-	100.0%	0.0%	100.0%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
リスクアセスメントで減少した(する)と思う							
N/A)	3	12	15	9.4%	5.4%	1.2%	4.7%
0思わない	6	44	50	18.8%	19.9%	2.4%	17.4%
1思う	23	165	188	71.9%	74.7%	9.1%	65.2%
総計	32	221	253	100.0%	100.0%	12.6%	87.4%

	実施			小計を100)		全体を100)	
	1あり	0なし	総計	1あり	0なし	1あり	0なし
リスクアセスメント以外の労働安全衛生対策							
N/A)	2	7	9	6.3%	3.2%	0.8%	2.8%
0していない	3	120	123	9.4%	54.3%	1.2%	47.4%
1している	27	94	121	84.4%	42.5%	10.7%	37.2%

添付資料 1

表 2 リスクアセスメント実施前後における労働災害発生状況 (1社あたり実労働時間あたり)

実施あり:32(うち導入年N/A:2) 実施なし:21 合計:253件

導入年	企業	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	前3年間 *1年平均	後3年間 *1年平均
		2002	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000									
2003	1		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000									0.000	0.000
2004	0																		
2005	0																		
2006	6					0.003	0.001	0.002	0.003	0.000	0.000	0.003						0.002	0.001
2007	1						0.000	0.006	0.012	0.000	0.000	0.000	0.000					0.006	0.000
2008	2							0.024	0.000	0.021	0.009	0.006	0.000	0.009				0.015	0.005
2009	5								0.013	0.011	0.009	0.005	0.005	0.004	0.007			0.011	0.005
2010	2									0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000	0.000
2011	0																		
2012	7											0.001	0.002	0.003	0.004	0.003		0.005	0.003
2013	6												0.002	0.005	0.003	0.002		0.010	-
2014	0																		
合計	30		0.000	0.000	0.000	0.003	0.001	0.007	0.006	0.006	0.004	0.003	0.002	0.004	0.004	0.002		0.050	0.014
全体	221		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.003	0.002	0.002	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001		0.001	-

常勤実労働時間	161.34	163.76	162.15	162.47	164.25	166.02	165.05	166.35	165.86	163.76	153.91	161.50	161.34	163.12	161.98	
GDP	464,364	474,847	476,535	477,915	485,968	497,441	503,921	512,452	523,686	518,231	489,588	512,364	510,045	517,425	525,390	
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014

添付資料 1

4. 調査結果

4. 1 回答数の状況

1,418 企業に調査票を送付したところ、宛先不明として届かなかつたものが 27 件、調査対象企業に届いた 1,391 件のうち回答が返送されてきたものが 319 件、未回答が 1,072 件であった。回答率は 22.9% であった。319 件のうち 20 件は総合工事業を営む企業からの回答であった。総合工事業と製造業では業務内容が大きく異なるため、今回はこれらのサンプルは除外した。4 件に無効回答（「リスクアセスメント実施経験あり」としながら、経験がない企業が回答するための回答用紙に記載しているなど）が見られたため除外した。さらに、従業員一人あたり年商が 17 億円以上となっていた 4 件、同 500 万円未満となっていた 37 件、従業員一人あたり月あたり残業時間が 365 時間となっていた 1 件を除外した。結局 253 企業のサンプルをもとにデータ分析を行った。

4. 2 回答結果

253 社のうちリスクアセスメントを実施したことがあると回答したのは 32 社（12.6%）、実施したことがないと回答した企業は 221 社（87.4%）であった。以降、前者を「RA 実施企業」後者を「RA 非実施企業」と呼ぶ。表 1 にリスクアセスメント導入に関する結果を示す。表 2 にリスクアセスメント導入前後における労働災害発生数の推移を整理した。

4. 3 普及阻害要因

RA 非実施企業の大半はそもそもリスク評価という言葉を知ることがない（聞いたことがあっても中身を知らない）、あるいは知識をもった人材がいないと回答している。リスクアセスメントに関する知識がない状態である。

RA 非実施企業の 80% 以上は（リスクアセスメント以外の）実施済み安全対策で十分だと思っている訳ではない。また RA 非実施企業の 75% は「リスクアセスメントによって労働災害が減少すると

思う」と回答している。

以上のことから、既存安全対策では十分でないと思っており、かつリスクアセスメントが有効だと思う一方で、実施方法が分からないために普及が進んでいない可能性が考えられる。広報活動が重要である一方、リスク評価に関する知識がなくても実行できる評価手法の開発が必要である。

4. 4 リスクアセスメントの効果

表 2 ではリスクアセスメントの導入後に労働災害が減少しているように見える。景気動向の影響を考慮して各年での労働時間（全国平均値）を使って単位時間あたりの労災発生数になおした。しかし、他の労働安全衛生対策の影響を除くことができていないところに問題が残る。

5. 今後の展開

データ分析の結果から、アンケート調査の改善項目を抽出した。例えば (1) リスクアセスメント（あるいは労働安全衛生対策全般）を実施しない理由を詳細に調べられるようにする、(2) 企業の資金的状況や忙しさの状況について調査する、(3) 労働災害削減効果に関してリスクアセスメントと他の安全対策の効果をも可能な限り分離できるように質問項目を工夫する。

謝辞

調査にあたって公益財団法人茨城県中小企業振興公社から多大なご助力をいただきました。ここに記して感謝の意を表します。本研究は厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業（H25-労働一般-010）の助成を受けた成果の一部です。

参考文献

中央労働災害防止協会（2009）. リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の普及状況と促進方策に関する調査研究報告書

茨城県の中規模事業場を対象とした リスクアセスメント普及状況の調査

安全工学シンポジウム2014

2014年7月11日(金)

@ 建築会館

○ 牧野良次[†], 松倉邦夫[†], 和田有司[†]

[†] 産業技術総合研究所安全科学研究部門

独立行政法人 産業技術総合研究所

本日お話しすること

1. 調査の背景

- 労働災害は中小規模事業場で多く発生している。一方、リスクアセスメントは必ずしも十分普及していない。

2. 研究目的・調査内容

- リスクアセスメントの普及阻害要因を考える
- 茨城県内の中小規模事業場を対象にリスクアセスメントの実施や労働災害の発生状況についてアンケート調査を実施

3. 調査結果

- 企業基本情報, リスクアセスメント実施状況, 労働災害削減への効果

4. まとめ

- アンケート結果から見える普及阻害要因について